

「学ぶ力」	
成果	課題
<p>◇担任の声掛けや見通しの提示、視覚的支援、ICT の活用により、子どもたちは安心して主体的に学習へ取り組む姿が見られた。また、交流や学び合いを通して考えを深め、自分の言葉で表現したり根拠をもって考えたりする力が育まれた。さらに、振り返りや学びの可視化を通して成長を意識し、自ら学びを調整しようとする姿につながっていた。</p>	<p>◇アンケートから主体的な学び、学び合い、振り返りに関する項目を抽出し、同一集団の変化を分析した。その結果、高学年では肯定的な回答が減少傾向にあったが、全体の割合は同程度か高い傾向が見られた。総じて、低学年では学習に向かう姿勢が向上し、高学年では学習への困り感を抱える子どもの増加が見られた。</p>
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
<p>◇担任の価値づけや問い返し、いいねカード、ICT の活用などを通して、子どもたちは互いのよさを認め合い、安心して他者と関わる姿が見られた。また、友達と協力して学ぶ楽しさを感じながら、相互承認を基盤とした学び合いの土台が育まれていた。一方で、交流が限定的になったり、学び合いの効果に個人差が見られたりする場面もあった。今後は、多様な他者と関わる場を意図的に設定し、相手の考えやよさを認めながら学びを深める支援の充実が求められる。</p>	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

主体的に学び続ける力

	課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
取組	<p>(1) 研究主題として、「主体的に学び続ける子どもの育成」～誰一人取り残さない授業づくり～を設定し、以下の3視点で授業づくりを進める。</p> <p>視点1: 一人一人が主体的に学ぶための見通し</p> <p>視点2: 学び合いを支える工夫</p> <p>視点3: 学びをつなぐ振り返り</p>	<p>◇昨年度の委員会活動での挨拶運動によって、校内の雰囲気が改善された。今年度も、子どもたちが明るく挨拶できる学校風土を作るために、「ふれあいあいさつ」と称して、担当学年の当番の子どもたちが、中休みに廊下のいろいろな場所(体育館前、階段付近)に立って挨拶をする活動を進めていく。</p> <p>◇委員会活動の中で、子どもたちが課題を見つけ、「～な学校にしたい」ということを考え、実現に向けて進められるように、教師が関わる。また、活動を地域にも発信できるように、パートナー校と協力して取り組んでいく。</p>
「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICT の活用について		
<p>◇自分の情報活用能力に応じて、必要な場面を見極めて活用できる力を養っていく。そのために、日常的な使用を通して、ICT 活用における基本的な情報活用能力の習得を目指す。</p>		

<本プログラムの実行に向けて>

